

マルチメディア

---

ユーザガイド

© Copyright 2007 Hewlett-Packard  
Development Company, L.P.

Windows は Microsoft Corporation の米国に  
おける登録商標です。

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP 製品およびサービスに関する保証は、当該製品およびサービスに付属の保証規定に明示的に記載されているものに限られます。本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して責任を負いかねますのでご了承ください。

初版：2007 年 1 月

製品番号：430298-291

# 目次

## 1 マルチメディア ハードウェア

オプティカル ドライブを使用する .....	1
取り付けられているオプティカル ディスク ドライブの確認 .....	1
オプティカル ディスクの挿入 .....	2
オプティカル ディスクの取り出し（電源使用時） .....	3
オプティカル ディスクの取り出し（電源切断時） .....	4
メディア操作機能の使用 .....	5
メディア アクティビティ ホットキーの使用 .....	5
メディア アクティビティ ボタンの使用（一部のモデルのみ） .....	6
クイック起動ボタンの使用 .....	7
オーディオ機能の使用 .....	8
オーディオ入力（マイク）ジャックの使用 .....	10
オーディオ出力（ヘッドフォン）ジャックの使用 .....	10
S/PDIF デジタル オーディオの使用（一部のモデルのみ） .....	10
音量の調整 .....	11
ビデオ機能の使用 .....	12
外付けモニター ポートの使用 .....	12
S ビデオ出力コネクタの使用 .....	13
カメラの使用（一部のモデルのみ） .....	14
カメラのプロパティの調整 .....	15

## 2 マルチメディア ソフトウェア

プリインストールされたマルチメディア ソフトウェアの確認 .....	17
マルチメディア ソフトウェアの CD からのインストール（一部のモデルのみ） .....	17
マルチメディア ソフトウェアの使用 .....	17
再生時の破損からの保護 .....	18
CD または DVD の書き込みプロセス保護 .....	18
DVD 地域設定の変更 .....	19
著作権の警告 .....	19

索引 .....	20
----------	----



# 1 マルチメディア ハードウェア

## 光学ドライブを使用する

光学ドライブでは、インストールされているドライブおよびソフトウェアの種類に応じて、CD や DVD を再生、コピー、および作成することができます。

### 取り付けられている光学ディスクドライブの確認

▲ [スタート]→[コンピュータ]の順に選択します。

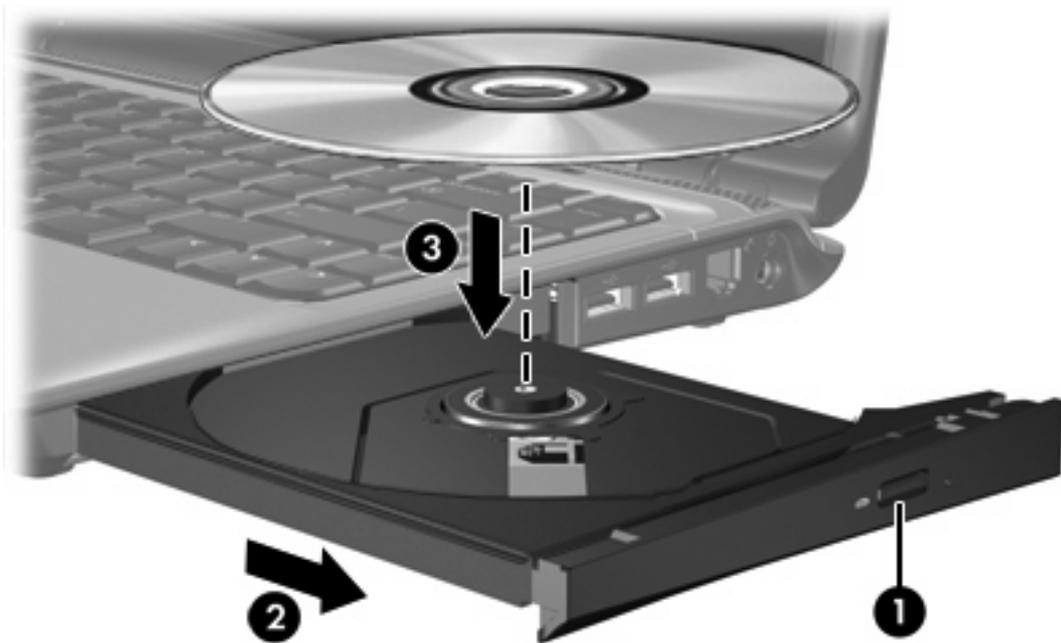
## オプティカル ディスクの挿入

1. コンピュータの電源を入れます。
2. ドライブのフロント パネルにあるリリース ボタン (1) を押してメディア トレイを開きます。
3. トレイを引き出します (2)。
4. ディスクは平らな表面に触れないように縁を持ち、ディスクのラベル面を上にしてトレイの回転軸上に置きます。



**注記** トレイが完全に開かない場合は、慎重にディスクを傾けて回転軸の上に置いてください。

5. ディスクが確実にハマるまで、トレイの回転軸上にディスクをゆっくり押し下げます (3)。



6. メディア トレイを閉じます。



**注記** ディスクを挿入した後、少し時間がかかりますが、これは通常の動作です。初期設定のメディア プレーヤを選択していない場合は、[自動再生]ダイアログ ボックスが開き、メディア コンテンツの使用方法を選択するように要求されます。

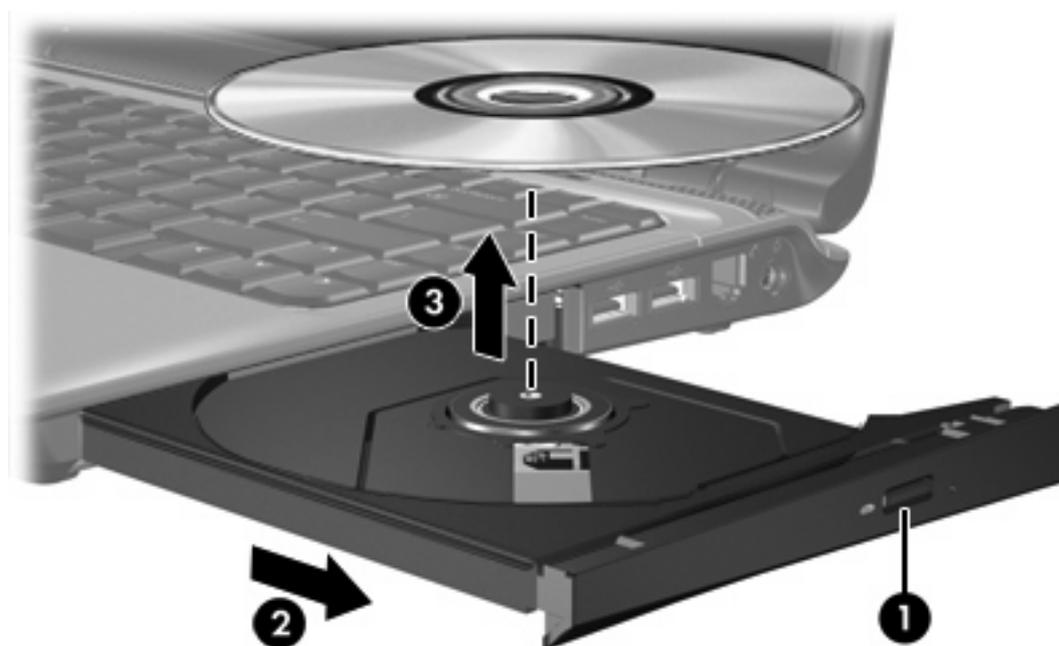
## 光学ディスクの取り出し（電源使用時）

コンピュータが外部電源またはバッテリー電源で動作している場合：

1. コンピュータの電源を入れます。
2. ドライブのフロントパネルにあるリリースボタン(1)を押してメディアトレイを開き、トレイを引き出します(2)。
3. 回転軸をそっと押しながらディスクの縁を持ち上げて、トレイからディスクを取り出します(3)。ディスクは縁を持ち、平らな表面に触れないようにしてください。



**注記** トレイが完全に開かない場合は、慎重にディスクを傾けて取り出します。



4. メディアトレイを閉じて、ディスクを保護ケースに入れます。

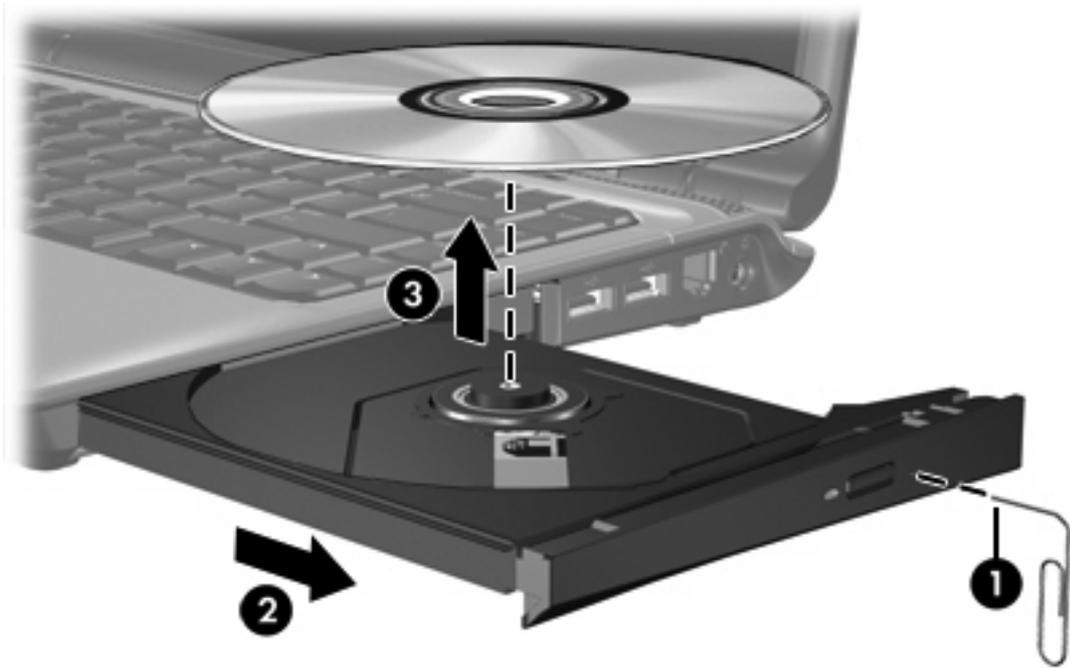
## 光学ディスクの取り出し（電源切断時）

外部電源またはバッテリー電源を使用できない場合：

1. ドライブのフロントパネルにある手動での取り出し用の穴にクリップの端 (1) を差し込みます。
2. クリップをゆっくり押し込み、トレイが開いたら、トレイを引き出します (2)。
3. 回転軸をそっと押しながらディスクの縁を持ち上げて、トレイからディスクを取り出します (3)。ディスクは縁を持ち、平らな表面に触れないようにしてください。



**注記** トレイが完全に開かない場合は、慎重にディスクを傾けて取り出します。



4. メディアトレイを閉じて、ディスクを保護ケースに入れます。

## メディア操作機能の使用

メディア アクティビティ ホットキーとメディア アクティビティ ボタン（一部のモデルのみ）は、オプティカルドライブに挿入されたオーディオ CD または DVD の再生を制御します。

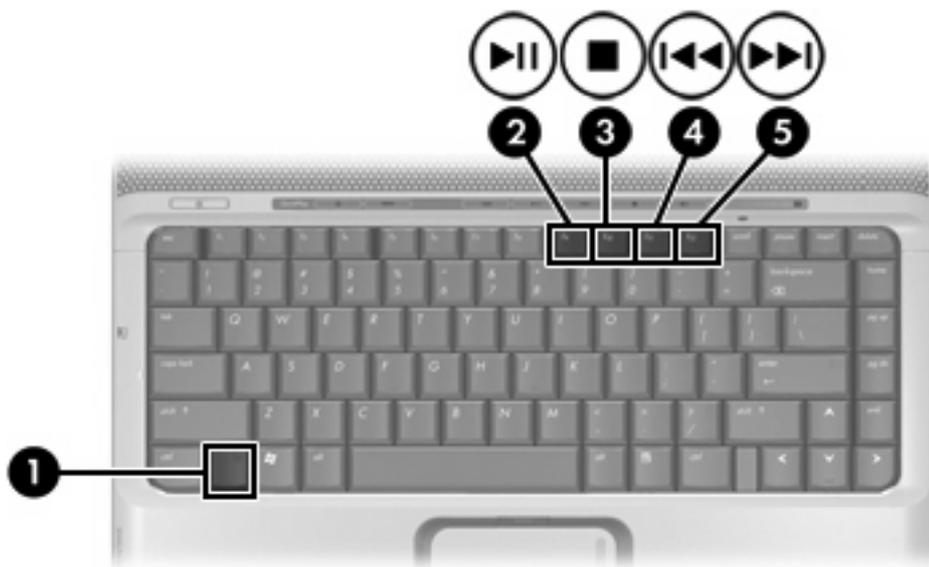
### メディア アクティビティ ホットキーの使用

メディア アクティビティ ホットキーは、**fn** キー (1) と 4 つのファンクション キーのどれかの組み合わせです。



**注記** ビデオ CD の再生を制御するには、ビデオ CD プレーヤ プログラムのメディア アクティビティ コントロールを使用してください。

- オーディオ CD または DVD の再生、一時停止、再開を行うには、**fn+F9 (2)**を押します。
- 再生中のオーディオ CD または DVD を停止するには、**fn+F10 (3)**を押します。
- 再生中のオーディオ CD の前のトラックまたは DVD の前のチャプタを再生するには、**fn+F11 (4)**を押します。
- 再生中のオーディオ CD の次のトラックまたは DVD の次のチャプタを再生するには、**fn+F12 (5)**を押します。

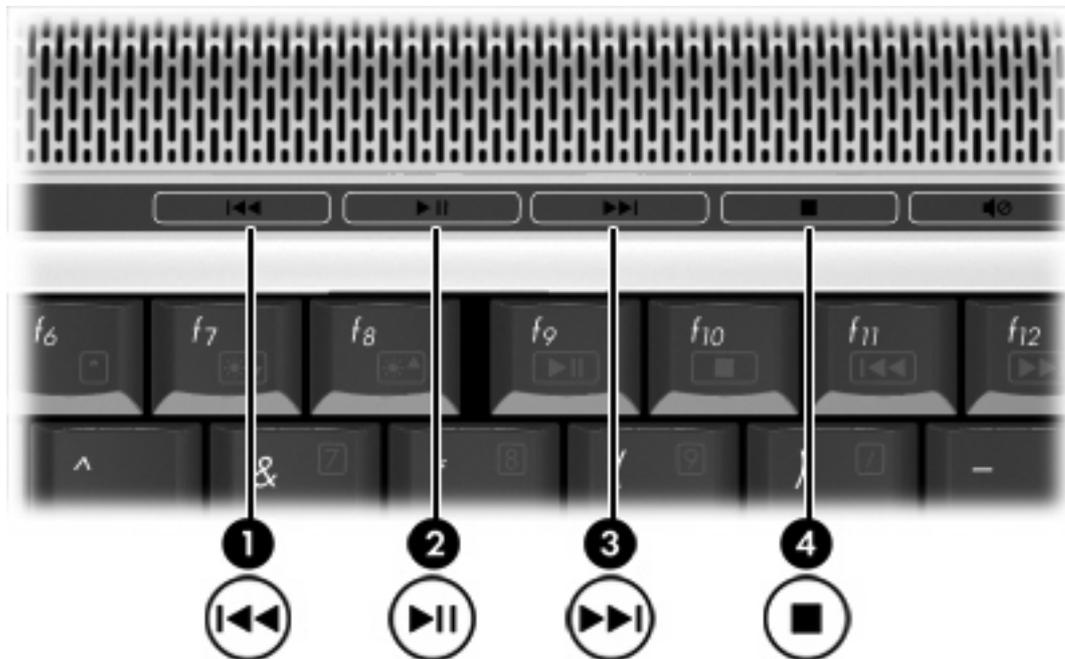


## メディア アクティビティ ボタンの使用（一部のモデルのみ）



**注記** メディア アクティビティ ボタンのタップ音は、出荷時にはオンになっています。[セットアップユーティリティ] (f10) を使って、音をオフにすることができます。

次の図および表では、メディア アクティビティ ボタンについて説明します。



名称	説明
(1) 前/巻き戻しボタン	オプティカルドライブのディスクを再生中の場合： <ul style="list-style-type: none"><li>これを押すと前のトラックまたはチャプタを再生します。</li><li><b>fn+</b>キーとこのボタンを押すと、巻き戻しを行います。</li></ul>
(2) 再生/一時停止ボタン	オプティカルドライブにディスクが入っており、 <ul style="list-style-type: none"><li>再生中でない場合、これを押すとディスクを再生します。</li><li>再生中の場合、これを押すとディスクを一時停止します。</li></ul>
(3) 次/早送りボタン	オプティカルドライブのディスクを再生中の場合： <ul style="list-style-type: none"><li>1回押すと次のトラックまたはチャプタを再生します。</li><li><b>fn+</b> このボタンを押すと、早送りを行います。</li></ul>
(4) 停止ボタン	オプティカルドライブのディスクを再生中の場合、これを押すと現在のディスク動作が停止します。

## クイック起動ボタンの使用



**注記** クイック起動ボタンのタップ音は、出荷時にはオンになっています。[セットアップユーティリティ] (f10) を使って、音をオフにすることができます。

メディア ボタン(1)と DVD ボタン (一部のモデルのみ) (2)の機能は、モデルとインストールされているソフトウェアによって異なります。これらのボタンを使って、DVD 映画を見たり、音楽を聴いたり、写真を表示したりできます。



メディア ボタンを押すと、QuickPlay プログラムが起動します。

DVD ボタンを押すと、QuickPlay プログラムの DVD 再生機能が起動します。



**注記** コンピュータがログオンパスワードを要求するようにセットアップされている場合、Windows にログオンするように求められることがあります。ログオンすると、QuickPlay が自動的に起動します。詳細については、QuickPlay オンライン ヘルプを参照してください。

## オーディオ機能の使用

次の図と表で、お買い上げのコンピュータのオーディオ機能について説明します。



**注記** 実際のコンピュータの外観は、この章の図と異なる場合があります。



名称	説明
(1) スピーカ (2)	コンピュータのサウンドを出力します。
(2) ミュート ボタン	システムの音量を消音 (ミュート) および復元します。
(3) 音量調整スライダ	スピーカ音量を調整します。左にスライドすると音量が下がり、右にスライドすると音量が上がります。別の方法として、スライダの左半分をタップすると音量が下がり、スライダの右半分をタップすると音量が上がります。

名称	説明
(4) オーディオ出力（ヘッドフォン）コネクタ（2）	別売の電源付きステレオ スピーカ、ヘッドフォン、イヤフォン、ヘッドセット、テレビ オーディオなどを接続します。
	 <p><b>注記</b> コンピュータのモデルによって、1 または 2 個のオーディオ出力（ヘッドフォン）コネクタが装備されています。</p> <p><b>注記</b> 2 つのオーディオ出力（ヘッドフォン）コネクタを持つモデルの場合、右側のコネクタから S/PDIF デジタル オーディオを出力できます。ケーブル アダプタが必要です。</p>
(5) オーディオ入力（マイク）コネクタ	別売のコンピュータ ヘッドセット マイク、ステレオ アレイ マイク、またはモノラル マイクを接続します。

## オーディオ入力 (マイク) ジャックの使用

お買い上げのコンピュータは、ステレオ アレイおよびモノラル マイクに対応するステレオ（デュアル チャンネル）マイク入力端子を備えています。サウンド録音ソフトウェアで外付けマイクを使用することにより、ステレオの録音および再生が可能です。

マイクをマイク ジャックに接続する場合、3.5 mm プラグのマイクを使用してください。

## オーディオ出力 (ヘッドフォン) ジャックの使用



**警告！** 突然大きな音が出て耳を痛めることがないように、音量の調整を行ってからヘッドフォン、イヤフォン、またはヘッドセットを使用してください。



**注意** 外付け機器の損傷を防ぐため、モノラル チャンネル コネクタをヘッドフォン ジャックに差し込まないでください。

ヘッドフォン ジャックはテレビや VCR などのオーディオ/ビデオ デバイスのオーディオ入力機能の接続にも使われます。一部のモデルは、右側のオーディオ出力端子から S/PDIF デジタル オーディオ信号を出力できます。

ヘッドフォン ジャックへの接続には 3.5 mm のステレオ プラグ以外は使用しないでください。



**注記** ヘッドフォン ジャックに機器を接続すると、内蔵スピーカは無効になります。

## S/PDIF デジタル オーディオの使用（一部のモデルのみ）

S/PDIF（Sony/Phillips Digital Interface）デジタル オーディオは、サラウンドやその他のハイエンドオーディオ出力といった高度なオーディオ機能を実現します。

デジタル オーディオを接続するには、お持ちの AV 機器のデジタル オーディオ コネクタに、S/PDIF デジタル オーディオ プラグを接続します。



**注記** ヘッドフォン コネクタで S/PDIF を使用するには、市販のミニ TOS リンク ケーブルやアダプタが必要です。

## 音量の調整

音量の調整には、以下のどちらかを使用します。

- コンピュータ本体の音量ボタン：
  - 消音したり音量を元に戻したりするには、ミュート ボタンを押します。
  - 音量を下げるには、音量調整スライダを右から左にスライドさせます。別の方法として、スライダの左半分をタップすると音量が下がります。
  - 音量を上げるには、音量調整スライダを左から右にスライドさせます。別の方法として、スライダの右半分をタップすると音量が上がります。



**注記** 音量ボタンのタップ音は、出荷時にはオンになっています。[セットアップユーティリティ] (F10) を使って、音をオフにすることができます。

- Windows の音量調整：
  - a. タスクバーの右端にある通知領域の **[[音量]]** アイコンをクリックします。
  - b. 音量を調整するには、**[音量]**スライダを上下に移動します。音を消すには**[ミュート]**アイコンをクリックします。

- または -

- a. 通知領域の**[音量]**アイコンを右クリックし、**[Open Volume Mixer (音量ミキサを開く)]**をクリックします。
- b. デバイス列でスライダを上下に移動して音量を調整します。**[ミュート]**アイコンをクリックして音を消すこともできます。

**[音量]** アイコンが通知領域に表示されない場合は、以下の手順に従って表示します。

- a. 通知領域で右クリックし、**[プロパティ]**をクリックします。
- b. **[通知領域]**タブをクリックします。
- c. **[システム]**アイコンの下の**[音量]**チェックボックスにチェックを入れます。
- d. **[OK]**をクリックします。

- プログラムの音量調整：

プログラムによっては、音量調整機能を持つものもあります。

## ビデオ機能の使用

コンピュータには以下のビデオ機能があります。

- テレビ、モニタ、プロジェクタなどをコンピュータに接続するための外付けモニタ ポート
- 高度なマルチメディア機能を実現するビデオ機器を接続するための S ビデオ出力コネクタ

### 外付けモニタ ポートの使用

外付けモニタ ポートは、外付けモニタまたはプロジェクタなどの外付けディスプレイ デバイスをコンピュータに接続するためのポートです。

ディスプレイ デバイスを接続するには、デバイス ケーブルを外付けモニタ ポートに接続します。



**注記** 外付けディスプレイ デバイスを正しく接続しても画面が表示されない場合は、**fn+F4** キーを押して、ディスプレイ デバイスに画面を切り替えます。

## S ビデオ出力コネクタの使用

7 ピンの S ビデオ出力コネクタは、テレビ、ビデオ デッキ、ビデオ カメラ、オーバヘッド プロジェクタ、ビデオ キャプチャ カードなどの別売の S ビデオ デバイスをコンピュータに接続します。

コンピュータは、S ビデオ出力コネクタに接続された 1 台の S ビデオ デバイスと、コンピュータ ディスプレイまたは外付けディスプレイに出力される映像を同時にサポートできます。



**注記** S ビデオ出力コネクタを通じてビデオ信号を出力するには、電気機器販売店で販売されている S ビデオ ケーブルが必要です。オーディオ機能とビデオ機能を同時に使用する場合、たとえばコンピュータで再生している DVD 映像をテレビに表示するような場合、電気機器販売店で販売されている標準のオーディオ ケーブルをヘッドフォン コネクタに接続する必要があります。

S ビデオ出力コネクタにビデオ デバイスを接続するには、次の手順で操作します。

1. S ビデオ ケーブルの一端をコンピュータの S ビデオ出力コネクタに差し込みます。



2. ケーブルの反対側の端を、機器の取扱説明書に従ってビデオ デバイ스에接続します。
3. コンピュータに接続されているディスプレイ デバイス間で画面を切り替えるには、**fn+F4** キーを押します。



**注記** コンピュータが別売の拡張製品に接続されているためにコンピュータの S ビデオ出力コネクタにアクセスできない場合は、S ビデオ ケーブルを拡張製品の S ビデオ出力コネクタに接続します。

## カメラの使用（一部のモデルのみ）

一部のコンピュータ モデルには、ディスプレイの上部にカメラが内蔵されています。さまざまなソフトウェアと共にこのカメラを使用すると、以下のような機能を使用できます。

- ビデオのキャプチャ
- インスタントメッセージ ソフトウェアを使用したビデオのストリーミング
- 静止画像の撮影



**注記** 内蔵カメラに対応するソフトウェアの使用方法については、そのソフトウェアのヘルプを参照してください。

カメラ ランプ (1) は、ビデオ ソフトウェアがカメラ (2) にアクセスすると点灯します。



パフォーマンスを最適にするために、内蔵カメラを使用するときには次のガイドラインに従ってください。

- ビデオ チャットを行う前に、インスタントメッセージ プログラムが最新のバージョンであることを確認してください。
- 一部のネットワーク ファイアウォール間では、内蔵カメラが正しく動作しないことがあります。他の LAN またはネットワーク ファイアウォール外の人との間でビデオの表示や送信に問題がある場合は、インターネット サービス プロバイダに問い合わせてください。
- できる限り、カメラの背後の画面領域の外に明るい光源を置いてください。

## カメラのプロパティの調整

以下のようなカメラのプロパティを調整できます。

- [明るさ]- 画像に組み込まれる光の量を制御します。明るさの設定が高いほど画像が明るくなり、低いほど暗くなります。
- [コントラスト]- 画像の明るい領域と暗い領域の差を制御します。コントラスト設定が高いほど画像を強めます。低くなると元の情報のダイナミックレンジの大部分が保持されますが、画像は平らになります。
- [色合い]- ある色を他の色と区別する色の印象を制御します（色を、赤、緑、青などとするもの）。色合いは鮮やかさとは異なります。鮮やかさとは色合いの強度を測定したものです。
- [鮮やかさ]- 最終的な画像の色の強度を制御します。鮮やかさの設定を高くするほど力強い画像になり、低くするほど繊細な画像になります。
- [鮮明度]- 画像の端の定義を制御します。鮮明度の設定を高くするほどはっきりした画像になり、低くするほどソフトな画像になります。
- [ガンマ]- 画像の中レベル グレーまたは中間調に影響を与えるコントラストを制御します。画像のガンマを調整すると、シャドウとハイライトを大幅に変更しないで中範囲のグレー トーンの輝度の値を変更できます。ガンマ設定が低いほどグレーは黒のようになり、暗い色はさらに暗くなります。

[プロパティ]ダイアログ ボックスは、内蔵カメラを使用するさまざまなプログラムから、通常は構成、設定、またはプロパティ メニューを使用して表示できます。

## 2 マルチメディア ソフトウェア

お買い上げのコンピュータにはマルチメディア ソフトウェアがプリインストールされています。一部のモデルには、オプティカル ディスクに収録された追加のマルチメディア ソフトウェアが付属していることもあります。

コンピュータが装備するハードウェアおよびソフトウェアに応じて、以下のマルチメディア タスクがサポートされます。

- オーディオ、ビデオ CD、オーディオおよびビデオ DVD、インターネット ラジオなどのデジタル メディアの再生
- データ CD の作成またはコピー
- オーディオ CD の作成、編集、および書き込み
- ビデオまたはムービーの作成、編集、および DVD またはビデオ CD への書き込み



**注記** コンピュータにインストールされているソフトウェアの使用については、ソフトウェアに付属の説明書を参照してください。説明書はオプティカル ディスク、印刷物、または該当するプログラム内のヘルプ ファイルとして提供されます。ソフトウェアの製造元の Web サイトから説明書を入手できる場合もあります。

## プリインストールされたマルチメディア ソフトウェアの確認

コンピュータにプリインストールされたマルチメディア ソフトウェアを表示および起動するには、次の手順を行います。

▲ **[スタート > すべてのプログラム]** を選択します。



**注記** マルチメディア ソフトウェアを再インストールすることもできます。**[スタート > すべてのプログラム > Software Setup]** を選択します。

## マルチメディア ソフトウェアの CD からのインストール (一部のモデルのみ)

付属の CD からコンピュータにマルチメディア ソフトウェアをインストールするには、次の手順を行います。

1. マルチメディア ソフトウェアの CD を光ディスク ドライブに挿入します。
2. インストール ウィザードが開いたら、画面のインストール指示に従います。
3. 要求された場合はコンピュータを再起動します。

CD からインストールするすべてのマルチメディア ソフトウェアに対してこのインストール手順を繰り返します。

## マルチメディア ソフトウェアの使用

1. **[スタート]** → **[すべてのプログラム]** を選択し、使用するマルチメディア プログラムを開きます。たとえば、Windows Media Player でオーディオ CD を再生する場合、**[Windows Media Player]** をクリックします。



**注記** プログラムがサブフォルダに存在する場合があります。

2. オーディオ CD などのメディア ディスクをオプティカル ドライブに挿入します。
3. 画面の説明に沿って操作します。

-または-

1. オーディオ CD などのメディア ディスクをオプティカル ドライブに挿入します。  
[自動再生]ダイアログ ボックスが開きます。
2. タスク一覧でマルチメディア タスクをクリックします。

## 再生時の破損からの保護

再生時の破損のリスクを低減するには、次の手順で操作します。

- CD または DVD を再生する前に作業を保存し、開いているすべてのプログラムを閉じてください。
- ディスクの再生中は、ハードウェアの取り付けまたは取り外しを行わないでください。

ディスクの再生中にハイバネーションまたはスリープ状態にしないでください。ハイバネーションまたはスリープ状態にしようとする、再生を続行するかどうかを確認する警告メッセージが表示されます。このメッセージが表示されたら、**[いいえ]**をクリックします。**[いいえ]**をクリックすると次のようになります。

- 再生が再開します。  
-または-
- 再生が停止して画面が消去されます。CD または DVD の再生に戻るには、電源ボタンを押してディスクを再起動します。

## CD または DVD の書き込みプロセス保護



**注意** 情報の消失やディスクの破損を防ぐため、以下の注意に従ってください。

ディスクに書き込む前に、コンピュータを安定した外部電源に接続してください。バッテリー電源で動作しているコンピュータでディスクに書き込まないでください。

ディスクに書き込む前に、使用しているディスク ソフトウェア以外、開いているすべてのプログラムを閉じてください。

ソース ディスクまたはネットワーク ドライブからコピー先ディスクに直接コピーしないで、いったんハード ドライブにコピーし、そのハード ドライブからコピー先ディスクにコピーするようにしてください。

ディスクへの書き込み中にキーボードを使ったり、コンピュータを移動したりしないでください。書き込み処理は振動に敏感です。

## DVD 地域設定の変更

著作権で保護されているファイルを使用する多くの DVD には地域コードがあります。地域コードにより著作権は国際的に保護されます。

地域コードがある DVD を再生するには、DVD の地域コードが DVD ドライブの地域の設定と一致している必要があります。



**注意** DVD ドライブの地域設定を変更できるのは 5 回までです。

5 回目に選択した地域の設定が DVD ドライブの最終的な設定になります。

ドライブの地域の残り変更可能回数が DVD 地域タブの残り変更回数ボックスに表示されません。このフィールドに 5 回目に指定された値が最終的な設定になり、以後変更はできません。

オペレーティング システムで設定を変更するには、次の手順で操作します。

1. [スタート]→[コンピュータ]→[システム プロパティ]の順に選択します。
2. 左側のペインで、[デバイス マネージャ]をクリックします。



**注記** Windows には、コンピュータのセキュリティを高めるために、ユーザ アカウント制御機能があります。ソフトウェアのインストール、ユーティリティの使用、Windows の設定変更などのタスクでは権限やパスワードが必要になる場合があります。詳しくは、Windows のオンライン ヘルプを参照してください。

3. [DVD/CD-ROM ドライブ]の横の「+」記号をクリックします。
4. [DVD/CD-ROM ドライブ]を右クリックし、地域の設定を変更する DVD ドライブを右クリックして、[プロパティ]をクリックします。
5. [DVD 地域]タブで地域を変更します。
6. [OK]をクリックします。

## 著作権の警告

コンピュータ プログラム、フィルム、放送、サウンド録音など、著作権で保護された素材を不正にコピーする行為は対象の著作権法で刑事犯罪とされます。このコンピュータをそのような目的に使用しないでください。

# 索引

- C**
- CD
  - 取り出し, 電源使用時 3
  - 取り出し, 電源切断時 4
- CD
  - 書き込み 18
  - 再生 18
  - 挿入 2
  - 保護 18
- D**
- DVD
  - 取り出し, 電源使用時 3
  - 取り出し, 電源切断時 4
- DVD
  - 書き込み 18
  - 再生 18
  - 挿入 2
  - 地域設定の変更 19
  - 保護 18
- DVD 地域設定 19
- DVD ボタン、位置 7
- Q**
- QuickPlay 7
- S**
- S/PDIF デジタル オーディオ 10
- S ビデオ出力コネクタ
  - 位置 13
  - 接続 13
- V**
- VCR 10
- い**
- イヤフォン 9
- お**
- オーディオ出力 (ヘッドフォン) ジャック 10
- オーディオ入力 (マイク) ジャック 10
- オーディオ機能 8
- オーディオ出力 (ヘッドフォン) コネクタ, 位置 9
- オーディオ入力 (マイク) コネクタ, 位置 9
- オプティカル ディスク
  - 取り出し, 電源使用時 3
  - 取り出し, 電源切断時 4
- オプティカル ディスク 挿入 2
- オプティカル ドライブ 再生 18
- か**
- カメラ
  - 確認 14
  - プロパティ 15
- く**
- クイック起動ボタン、位置 7
- こ**
- コネクタ
  - S ビデオ出力 13
  - オーディオ出力 (ヘッドフォン) 9
  - オーディオ入力 (マイク) 9
- さ**
- 再生の保護 18
- し**
- ジャック
  - オーディオ出力 (ヘッドフォン) 10
  - オーディオ入力 (マイク) 10
- す**
- スピーカ, 位置 8
- そ**
- ソフトウェア
  - マルチメディア 16
- ソフトウェア > ソフトウェア インストール 17
- ソフトウェア
  - 確認 17
  - 使用 17
- ち**
- 地域コード、DVD 19
- 著作権の警告 19
- て**
- テレビ 10
- ひ**
- 光ディスク ドライブ 保護 18
- 光ディスク 書き込み 18
- ふ**
- プログラム
  - 確認 17
  - マルチメディア 16
- プログラム
  - インストール 17
  - 使用 17
- プロジェクタ, 接続 12

## へ

ヘッドフォン 9

## ほ

ポート, 外付けモニタ 12

ボタン

DVD 7

クイック起動 7

ミュート 8, 11

メディア 7

再生/一時停止 6

次/早送り 6

前/巻き戻し 6

停止 6

## ま

マイク, 対応する 10

マルチメディア ソフトウェア

説明 16

マルチメディア ソフトウェア

インストール 17

確認 17

使用 17

## み

ミュート ボタン 8, 11

ミュート ボタン, 位置 8

## め

メディア アクティビティ ボタン,  
位置 6

メディア アクティビティ ホットキ  
ー, 位置 5

メディア ボタン, 位置 7

## も

モニタ, 接続 12

## ん

音量, 調整 11

音量調整スライダ 11

音量調整スライダ, 位置 8

外付けモニタ ポート, 位置 12